

放課後児童クラブの取り組みについて

本市の放課後児童クラブにつきまして、保護者が就業等により昼間家庭にいない児童等を対象として、授業の終了後等に適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成を図ることを目的に、国の規定する放課後児童健全育成事業として開設しています。

本市ではこれまで希望されるすべての申込者が利用できるよう、児童の受入枠や支援員の確保などの取組を進めてまいりました。小学校の児童数増及び放課後児童クラブの需要が増加している状況を踏まえ、これまでの取組や今後の予定等を報告いたします。

1 児童クラブの利用児童数等の推移（2020年度～）（単位：人）

放課後児童クラブの利用者数は毎年増加傾向にあり、2022年度以降は増加数が顕著です。これは小学校児童数の増加及び就学前保育施設を利用された方が増加し、児童クラブのニーズが高まったことによるものと思われます。

年度	2020	2021	2022	2023	2024	2025 見込み
小学校児童数（A）	16,246	16,525	16,861	17,143	17,346	17,537
利用児童数（B）	3,416	3,461	3,672	3,999	4,249	4,647
受入枠	4,095	4,211	4,651	4,779	4,913	4,995
利用率（B/A）	21.0%	20.9%	21.8%	23.3%	24.5%	26.5%

※小学校児童数は各年5月現在 明石市立学校通学区域審議会のHP公表資料から引用

※利用児童数は各年4月現在 2025年度利用児童数は申込者数

2 受入枠の拡充

次年度の申込時点で利用者の大幅な増加が見込まれる児童クラブにおいては、前年度中に児童クラブ室を整備し必要な受入枠を確保しています。施設整備に際しては小学校の余裕教室の活用、特別教室の共用から検討し、余裕教室などがない場合に限ってプレハブ棟の整備を行います。プレハブ棟については、2023年度は藤江小学校内に整備し、2024年度は朝霧小学校内の整備に着手しているところです。

3 支援員の確保

放課後児童クラブの運営にあたり必要となる支援員の確保策として、これまで段階的な処遇改善を実施し、週2日からの勤務を可能とするなど働きやすい環境整備を行ってきました。また、教員などの資格がない方でも補助支援員として採用しているほか、認定資格研修等による資格取得や資質向上を促進し、児童の健全な育成に取り組んでいます。

【参考：支援員数】

年度	2022	2023	2024
支援員数(4月現在)	367人 (内常勤108人)	370人 (内常勤103人)	387人 (内常勤104人)

4 次年度以降の課題と取組について

今後も引き続き受入枠や支援員の確保を実施し、放課後児童クラブを希望する方が利用できるように努めてまいります。

一方で児童クラブの利用者数の増加により、有資格の常勤支援員が不足しており、特に夏休みには、限定入所の受入により利用者数が一時的に増加することから、夏休み期間中の支援員の確保が大きな課題となっています。

次年度以降に利用者数がさらに増加した場合は、受入枠の大幅な超過や支援員不足に伴う支援員一人ひとりの負担増などにより、児童の健全かつ安全な育成が阻害されるなどの懸念が生じるため、他市の事例等を参考にしながら早急に対応を検討してまいります。

【参考：夏休み限定入所の利用者数】

年度	2023	2024	2025見込み
限定入所利用者数	667人	785人	936人

【参考：県内他市の待機児童数等（2024年度）】

	神戸市	姫路市	尼崎市	西宮市	明石市
待機児童数	0人	225人	269人	174人	0人

※姫路市と尼崎市は低学年から順番に入所決定している。

※姫路市は定員を超過した場合、次の学年（3年生で超過した場合は4年生）全員が待機児童となる。

※西宮市は原則1年生から3年生だけを受入している。